



絵・オカダミカ

## テーマ書評「輪」

山岸涼子著 『日出処の天子 完全版』  
(メディアファクトリー、全7巻、各1500円)



三浦 佑之  
古代文学研究者、  
立正大教授

輪からワ・倭・和とつながった処の天子は、輪や和を費んでいるとは思えないが、そして最近では実在さえ危ぶまれるが、物語の世界ではいつまでも、蛮夷の倭の国に誕生した最初の智者として、この人は存在し続けてほしい。日本書紀という味気ない歴史書から紡ぎ出された物語の、華やかで艶やかな印象は今もまったく色褪せない。インテリ・シャーマンとして屹立する厩戸王子にリアリティを感じるのは、多分に蘇我毛人との微妙な関係にあるはずだ。近ごろは読んだという学生がとても少なくなつた。夏休みの宿題に出しておけばよかった。